

探究通信

2023 (第1号)

富山県立高岡高等学校

2023年4月発行
編集 企画研究部

探究活動の成果を発表 - 3月18日(土) -

★「ミライシコウ金沢(高校生探究成果発表会ならびに高校生国際会議)」に参加

金沢大学角間キャンパス自然科学大講義棟・自然科学本館において、「ミライシコウ金沢」が開催され、本校からは、探究成果発表会に人文社会科学の課題研究歴史班と英語2班が、国際会議の分科会Ⅰ「This is the world we are living in.」、分科会Ⅱ「戦争体験を聞くこと、継承すること」、分科会Ⅲ「仮説検定と回帰分析・探究で使える手法を学ぶ」に各2名、合計6名が参加しました。探究成果発表会では、10分間のポスター発表の後、質疑応答が行われ、大学の先生や他校の生徒たちとの間で活発なやりとりが行われました。高校生国際会議でも、他校の生徒たちと小グループを作り、積極的に意見交換を行いました。



歴史班の発表の様子

※歴史班は、人文科学(文化・芸能・歴史)分科会で探究奨励賞を受賞しました。

【生徒の感想】

- ・他県の高校生の雰囲気や発表テーマに刺激を受けた。富山県の探究科学の課題研究にかかる時間と熱量は、他と比べても大きいので、自信を持って県外の発表に参加すると思う。
- ・レベルの高い人達と交流することは少し怖いことでもあるが、自分にとってプラスになると思うので、積極的に参加してみるべきだと思う。落ち込んだり悔しかったりするのも一つの良い経験であると思う。

★「京都大学ポスターセッション2022」に参加 ~同大百周年時計台記念館にて~

「京都大学ポスターセッション2022」に探究科学の課題研究英語1班(文理混合班)が参加しました。これまで研究してきた”Students' Suggestion to Improve School Policy”を発表してきました。



【生徒の感想】

- ・改めて自分たちの研究の論理的思考の不足を実感した。しかし、大学の先生や他県の生徒と話すのは刺激的で楽しかった。何でもやってみるのが大切だと感じた。
- ・一人で発表している高校生がいて、研究への熱量を感じた。熱のこもった発表にとっても引き込まれ、真剣に取り組むことの大切さを学んだ。
- ・全国にはすごい人がたくさんいるのだなあとわくわくした。

県高校生海外派遣事業に参加 - 3月6日(月)~17日(金) -

初めまして。26Hの中村真結です。私は県の派遣事業で、アメリカ・オレゴン州を訪問しました。オレゴン州は気候も自然の豊かさも富山県とよく似た州で、県の提携都市です。私たちはオレゴン州政府教育局や、現地の企業や高校、大学などを訪れました。

私は「オレゴン州では子供の教育において何が大切にされているのだろうか」という課題を設定し、それを解明すべく、様々な人に聞き取り調査を行いました。訪問した高校は、服装や髪型が生徒の自由に委ねられていました。学習面でも、学期ごとに好きな科目が選択できたり、生徒がレベルによってクラス分けされたりと、とても「自由」が尊重されていると感じました。しかしアメリカは「自己責任」の社会ともいわれます。公的医療保険制度は不十分だし、救急車の要請も個人が費用を負担しなければなりません。オレゴン州では、「自由」を大切にしつつも、それに伴う「責任」の重さも併せて、子供の時から学ばせているのではないかと結論付けました。



州政府教育局訪問の様子

現地研修では、インターネットの情報だけではわからないことをたくさん学ぶことができました。皆さんもぜひ、学校の外に飛び出して、日本中に、世界中に、仲間を増やして行ってください!

令和5年度が始まりました。1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。探究科学科へようこそ! 「探究」の意義を再認識し、「探究する力と心」を貪欲に磨いていきましょう! 今号は、3月に行われた探究活動を紹介します。今年度はさらに様々な活動や発表の機会があると思います。積極的に参加しましょう!

1年探究科学科 科学探訪 - 3月14日(火)~16日(木) -

令和5年3月14日(火)~16日(木)、1年探究科学科79人が、科学探訪に行ってきました。東京方面での実施は4年ぶりでした。日程は以下の通りです。

- 1日目(3/14): 東京大学訪問(本校卒業生による講義、キャンパスツアー)、卒業生との懇談会
 - 2日目(3/15): 首都圏内各施設 班別研修
 - 3日目(3/16): 博物館研修 ~東京国立博物館(文系)・国立科学博物館(理系)~
- 以下に、1日目の卒業生との懇談会と2日目の班別研修について紹介します。

《卒業生との懇談会》…現役東大生・院生12人から、高校時代や大学生活についてお話を伺った。

【高校時代】

- ・部活等で勉強時間が確保できない時は、復習を後回しにするのではなく、授業中に全て吸収しようという心意気で授業に臨んだ
- ・勉強は将来に向けての投資だと考えて取り組んだ

【大学生活~就職活動】

- ・サークルやボランティア活動など学生時代に取り組んだことが就活の強みにもなるので、様々な活動に積極的に参加しよう

【2年生で行う課題研究について】

- ・本などの情報で完結せず、実際に見たり聞いたりして本物に触れることを大切にしよう
- ・課題研究は課題を追究するだけではなく、資料のまとめ方や発表の仕方やなど、社会人に求められるスキルを身につけることもできるので、すべての活動に意欲的に取り組もう



《班別研修-首都圏内各施設にて-》…「その過程こそ科学探訪の醍醐味」(A先生)

各班で情報収集や話し合いを繰り返し研修目的と研修先を決定し、研修先にも自分たちでアポをとった。研修をゼロから企画するという大変な道のりを経て、私たちはその日を迎えた。

《大変だった事》

- ・アポが取れなくて計画が練り直しになった事
- ・研修先の決定、他班と連携をとる事

《気付いた事》

- ・班員同士の協力や話し合いの重要性
- ・計画はできるだけ綿密に立てたほうがよい事

★6組5班の例を紹介 ◇研修目的: 日本の近代と現代の歴史を学ぶ・感じる

◇研修内容: まず明治神宮を訪問。神主さんに案内してもらい、明治神宮の歴史や豆知識を学んだ。第二次世界大戦時の空襲で一旦焼失したが、国内外の人々の支援により再建され、現在はSDGsにも力を入れていることを知った。午後からは警視庁を訪問。普段は見られない通信指令室を見学。多くの司令官が24時間体制で、様々な装置を用いながら都民の安心・安全を守っていることを知った。明治神宮も警視庁も、ともに人々からの信頼と協力の上に存在・成立していることを学んだ。

★他班の主な訪問先…講談社、東京証券取引所、東京税関、文部科学省、読売新聞など

《感想》

・科学探訪を通して自分自身の視野を広げることができた。・現地でしか得られないことがあり、自分の目で見ることの大切さを学んだ。・時間を有効活用し、もっと勉強に励み、進学の実績を上げていきたい。